

大人の地域再発見誌

vol.10

無料!
Take Free!

こうのす

誰も知っていて 実はよく分からない 狛犬の世界

Contents

- 2 特集「狛犬の世界」
- 7 こうのす人 梶山立志さん
- 8 おすすめイベント
- 9 私の好きなこうのすの風景
- 10 こうのす歴史散歩
- 10 編集部より

題字
執筆 第48代 勝願寺住職
藤田得三氏

表紙
写真 鴻巣市赤城714
赤城神社の狛犬



番号	名称	地区
1, 2	氷川神社	大芦
3	伊奈利神社	榎戸
4	山神社	北新宿
5	吹上神社	吹上本町
6	八幡神社	鎌塚
7	西福寺	袋
8	赤城神社	赤城
9	久伊豆神社	北根
10	鷺栖神社	広田
11	天満宮	境
12	久伊豆神社	屈巢
13	八幡神社	市ノ縄
14	八幡神社	安養寺
15	宮登神社	宮前
16	鴻神社	本宮町
17, 18	法要時	本町
19	生出塚神社	天神
20	勝願寺	本町
21	八幡神社	人形町
22, 23	氷川神社	滝馬室
24	愛宕神社	原馬室
25	野宮神社	原馬室
26	久伊豆神社	郷地
27	久伊豆神社	笠原
28	氷川神社	上谷
29	氷川神社	下谷

誰もが知っていて 実はよく分からない 狛犬の世界

狛犬と言えば、誰もが神社の参道で参拝者を迎える、石で作られた1対の神獣を思い浮かべるだろう。狛犬は、西アジアの1対のライオン像がその起源とされ、ユーラシア大陸を経て日本に伝わる間に、各地の習俗を採り入れて、今の形になったと言われる。神社の狛犬をよく見ると、同じ形の狛犬は2つと無く、精悍な顔つきの像から戯けた表情の像まで様々である。今回は、鴻巣市内の狛犬たちについて紹介する。



狛犬と獅子

狛犬は、通常は右の像が口を開け、左の像は口を閉じて阿吽になっている。本来は、口を開けている阿像が獅子、口を閉じている吽像が狛犬と呼ばれる。狛犬は、元は頭の上に角を持つ造形であったが、年月と共に角が省略される表現になった。一方で獅子という呼び名はあまり使われなくなり、2体とも狛犬と呼ばれるようになった。

神殿狛犬と参道狛犬

狛犬は、かつては木造が主流で、建物内に置かれることが多かった。これを神殿狛犬と言う。一方、江戸時代後半になって参道に置かれる石製の狛犬が多く作られるようになった。これが参道狛犬である。

鴻巣市内の狛犬

狛犬は全ての神社に必ずあるものではない。また、神社以外の寺院に設置されることもある。鴻巣市内では、50社を越える神社があるが、狛犬があるのは、そのうち24社である。また、いくつかの寺院にも狛犬がある。今回は、神社を中心に29対57体の狛犬を紹介する。このうち、1対2体が木造、残る28対55体は石造である。大部分が大正～昭和前半にかけての作品であるが、江戸時代や明治時代に遡る狛犬や最近になって設置された狛犬もある。明治以前の狛犬は、ただ座っているだけの像が多いが、大正以降では子獅子が居るものや、毬を持つものが多くなり、全体的に装飾も華美になる傾向がある。また、大正以降の狛犬では、製作者の名前が彫られているものも多い。